

双曲割引が老後の貯蓄に与える影響

第2回資産形成学生論文アワード2024優秀賞受賞

第2回資産形成学生論文アワード2024(投資信託協会主催)で、広島大大学院1年の鍋島萌花さんと経済学部3年の和泉晴香さん、姫野柚葉さんの共著論文「双曲割引が老後の貯蓄に与える影響」が、優秀賞を受賞。若者の視点で分析・提言やオリジナリティを重視した審査により、優秀であると認められ高く評価された。

■資産形成学生論文アワード

豊かな人生を送るために、一人一人が自分の資産とどう向き合っていくのか、未来の投資による資産形成の在り方について自由な発想による論文・レポートを提出。最優秀賞は該当なし、優秀賞1点、佳作1点、敢闘

若者の視点で分析・提言

鍋島 萌花さん、和泉 晴香さん、姫野 柚葉さん

賞1点、アイデア賞1点の計4点を選んだ。

■研究内容

鍋島さんら3人は、証券会社と組んでデータ分析をする角谷快彦教授(同大大学院人間社会科学部経済学プログラム)の研究室のゼミ生。和泉さんと姫野さんは、昨年4月に同研究室に配属されたばかりなので、論文の書き方などを先輩の鍋島さんに教えてもらいながら3人で夏休みに研究した。金融庁が提唱した老後2000万円問題という社会的な課題があり、多くの人が貯蓄に不安を抱えている現状がある。3人は目先の利益を優先しがちな行動傾向である双曲割引という心理的要因に着目し、証券会社と同研究室が共同で実施した調査結果を基

に、1カ月半を掛けて65歳以上の人の貯蓄額と双曲割引の関係について分析し、双曲割引が老後の貯蓄に与える影響について研究し実証的に示した。

■優秀賞を受賞して

和泉さんは「周りの人の支えがあったおかげで受賞できた」、姫野さんは「データ分析の基礎的なことを学び始めたばかりで、スキルがない状態からの研究だった」、鍋島さんは「日本の全国規模の論文大会に応募するのは初めてなので、後輩のサポートなど試行錯誤しながら研究した」と、それぞれ受賞を喜び「今回の経験が、今後の研究の支えになる」と目を輝かす。指導した角谷教授は「受賞を自信にしてほしい」とエールを送り、目を細める。



楽しくなくていいから
実りのある毎日にする? 和泉 晴香

ほかほか 姫野 柚葉

人生は一度きり 鍋島 萌花

先入観は可能を不可能にする 角谷快彦

研究メモが残るホワイトボードの前で笑顔の(右から)角谷教授、鍋島さん、姫野さん、和泉さん



表彰状を手に大庭昭彦審査委員長(左)と記念撮影に納まる(右から)鍋島さん、和泉さん、姫野さん。表彰式は昨年の12月18日に、東京証券取引所内の東証Arrows(アローズ)(東京都中央区)で開催



受賞者の名前が掲示された東京証券取引所内のマーケットセンター上部の巨大電光掲示板